

平成29年度社会福祉法人風 後援会定期総会

平成29年5月28日(日)午後から平成29年度社会福祉法人風後援会定期総会が、わくわく村大原事業所で開催されました。

本年度の総会には、大変お忙しい中、森三田市長様、佐貴副議長様をはじめ、多くの議員の皆様、法人役員、保護者や関係機関の皆様等にご出席いただき、平成29年度の活動方針や予算などが決定されました。



三田市長挨拶



たくさんの方々に出席していただきました。

なお後援会役員人事では、長年に渡りご尽力頂いた藤村後援会長が交代され、後任には三田市区・自治会連合会会長の三輪剛敏氏が就任されました。その他の役員の皆様は、全員が再任されましたので、引き続きよろしくお願いいたします。

第2部研修会では・・・



桂七福さんの落語

2部では、利用者みなさんが作った新作の製菓がお披露目され、マドレーヌやクッキーを召し上がって頂きながら、桂七福さんによる「人権落語—笑いは心の深呼吸—」が上演されました。

ここでは落語の歴史や笑いの文化を通して、日常生活に潜む偏見や差別を、鋭く見抜き、防止することの大切さを学習、拝聴いたしました。

風 後援会から入会のお願い

風 後援会は三田わくわく村の応援団です。知的障がい者(児)の支援と正しい理解を社会に広めることを目的として活動しています。本会の趣旨にご理解を賜り、ご加入くださいますようよろしくお願いいたします。

- 年会費 : 1,000円
- 振込先 : 郵便振込 01110-3-66308
- 三井住友銀行 普通 391-3808145
- 三井住友銀行 三田支店 普通 395-3120072
- ウディタウン出張所 普通 394-3193249
- 三井住友銀行 フラワータウン支店

名義 : 社会福祉法人風後援会
【お問い合わせ】
「風」後援会事務局
三田わくわく村大原事業所内
〒669-1515
三田市大原梅ノ木 1546-5
☎ 079-564-0909

製菓新商品のご紹介

志手原事業所の就労継続支援B型で作っているお菓子の新製品をご紹介します。

★体に優しくヘルシーなお菓子が仲間入り。甘さを控え、食物繊維たっぷりのクッキーです。



ブランクッキー ¥100

全粒粉とブラン(小麦の表皮)を使用したサクサクと香ばしい味



グラハムクッキー ¥100

全粒粉と粗引きの小麦を使用したサクサクと香ばしい味

★定番の玄米ポンから少し遊び心とおいしさを追求したポン菓子(ココア味・ピーナツ味・みたらし味)



ポン菓子(ココア味) ¥100



ポン菓子(ピーナツ味) ¥100



ポン菓子(みたらし味) ¥100

お野菜シリーズも今後販売予定です。新商品を一度ご賞味ください。

ボランティア通信欄



日頃の活動以外にも、わくわく村で開催する納涼大会といったイベントにもボランティアの方に多くのご協力をいただき、ありがとうございます。

しかし、ボランティアの方々にはわくわく村の活動に加わることで、利用者さんの事をもっと知ってもらえる機会を十分に提供できていないのではないかと感じています。

今後はボランティアの方々により活動しやすい体制を整え、充実した活動をして頂けるよう準備していきますので、ご協力下さいますようお願いいたします。

一泊研修旅行の予定

- 9/21(木) ~ 本町事業所 1泊研修旅行
- 9/22(金) : 滋賀方面
- 9/27(水) ~ 大原事業所1班 1泊研修旅行
- 9/28(木) : 淡路方面
- 10/5(木) ~ 大原事業所2班 1泊研修旅行
- 10/6(金) : 淡路方面
- 10/12(木) ~ すずかけ台事業所自立訓練 1泊研修旅行
- 10/13(金) : 浜城方面
- 10/19(木) ~ 志手原事業所・すずかけ台事業所就労継続B-1泊研修旅行
- 10/20(金) : 島根方面

わくわく通信

発行 社会福祉法人 風
障害福祉サービス(多機能型)
三田わくわく村

〒669-1515 三田市大原 1546-5
(TEL)079-564-0909
(FAX)079-564-8500

(e-mail) sanda.wakuwakumura@giga.ocn.ne.jp
(Hpアドレス) <http://sandawakuwakumura.com/>

社会福祉法人風 三田わくわく村

開設20周年記念行事特集 (H29・7月号)

多くの皆様の支えを頂いて、社会福祉法人風三田わくわく村は本年開設20周年を迎えました。障がいのある人たちとの交流を通じ、私たちの活動をより多くの方々にご理解頂くために、20周年記念チャリティコンサートと納涼大会、そしてこれまでの20年の歩みを記した記念誌を発刊しました。

わくわく村の仲間たちと共に！！

多くの感動を頂いた……………

「渡辺知子一座」チャリティコンサート

昨年8月、今まで支えて頂いた多くの皆様に感謝し、利用者や関係者そして一般市民のみなさんに呼びかけチャリティコンサートの開催を計画し、10か月かけて取り組んできました。出演者渡辺知子さんは、自らの大病の体験を通して命の大切さを訴え、国内のみならず海外も含めコンサート活動をされています。



たくさんの方々に観て頂きました。



作田理事長挨拶



3名のアーティストによる演奏



LENCONさんの演奏

6月11日、郷の音小ホールに満席のお客さんを迎え、作田善司理事長の挨拶やわくわく村の歩みの紹介の後、ステージが始まりました。迫力あるドラム、フルート、しの笛、エレクトーンなど、3名のプロのミュージシャンの演奏や、サリドマイド薬害で両腕を失ったLENCONさんの足での太鼓や手話、渡辺知子さんの語りなど、素晴らしいステージにみんなが興奮しました。



わくわく村利用者と一緒に合唱

また、終盤にはわくわく村の仲間達がステージで共演、「きのう きょう あした」を手話を交えて知子さんとの合唱で盛り上げ、利用者さん2名が渡辺知子さん、LENCONさんに感謝の花束を贈り、そしてフィナーレは会場みんなでひまわりを手に「ひまわりが似合う街」を歌い、コンサートは終わりました。



障がいがあるからと言って妥協しない熱い想いが観客を魅了し、多くの皆さんから、感動した！良かった！との声を頂きました。こうした感動を大事にして、次の10年20年に向けて頑張ります。応援よろしくお祈り申し上げます。

みんなひまわりを持って歌いました。



利用者さんによる花束贈呈



塚本猛さんの三七七拍子よかったー！！

——地域福祉の向上に役立てて！！——

三田市社会福祉協議会に寄付



利用者さん2人で持って行きました。

この度のコンサートの開催に当たっては、多くの皆様にチケットの購入をいただき、盛会に終える事が出来ました。心から感謝申し上げます。収益金(チケット代)278,400円は、6月20日利用者さんを代表して2名の方が三田市社会福祉協議会馬場会長様に贈りました。



平成29年6月21日 神戸新聞

私たちは、日頃から多くのみなさんの支えにより活動し暮らしています。日頃の感謝の気持ちを込めて、誰もが安心して暮らせる地域づくりに役立てて頂ければ幸いです。

これからも、地域社会の一員として微力ですが取り組んでまいりますので応援よろしくお祈りいたします。



今年は、わくわく村開設20周年記念事業として、有馬富士共生センターで納涼大会が盛大に開催されました。オープニングは、上野台中学校吹奏楽部による演奏。映画『君の名は』から「前前世」や「恋」など、今話題のナンバーをリズムカルに演奏していただきました。



上野台中学校の素敵な演奏
会場いっぱい立ち見が出るほど大盛況でした。

模擬店がオープンすると、お目当ての食べ物を求めて列ができました。いつもの焼きそばやフランクフルトに加え、「おいでや」さんによるたこ焼きが販売されました。どれも完売！！駐車場整理や模擬店を運営いただいた保護者会の皆さん暑い中ありがとうございました。



「おいでや」のたこ焼き
たこがすごく大きかったです。



志手原事業所で焼いているパン



暑い時期とてもおいしいかき氷



手作りから揚げ



毎年大人気の焼きそば



子供が大好きなフランクフルト

毎年恒例の盆踊りでは、三輪地区の民生委員さんに着付けをしていただき浴衣姿になった利用者さんも輪の中に入り、「新三田音頭」「炭坑節」を踊りました。三田市連合婦人会の皆様、いつも踊りを盛り上げてくださってありがとうございます！！



広い場所での盆踊りだったのでたくさんの方に参加していただきました。



笑い飯のお二人に3等から抽選して頂きました。
1等の当選者は笑い飯と握手して景品をもらうのを忘れるほど興奮していました。

会場を多目的室から外の広場に移し、開会式では理事長の挨拶の後お忙しい中ご臨席いただいた三田市長様や三田市議会議長様のご挨拶や、祝電が紹介されました。



森哲男三田市長様の挨拶



平野管子三田市議会議長様の挨拶

「ちめいど」さんのライブは心温まる歌詞に心癒された方もたくさんいらっしゃったのではないのでしょうか。その中で、わくわく村をご利用されている方が作った詩に「ちめいど」が曲を付けた「あしたは」が紹介されました。



「ちめいど」の演奏

バルーンアートの東部さんによるパフォーマンスでは風船でアンパンマンや犬など器用に作ってもらい子供から大人まで大喜びでした。

アンパンマン



東部さんのバルーンアート



空が薄暗くなる頃、「笑い飯」の漫才が始まりました。広場は漫才を聞こうと観客が一杯になりました。また、「笑い飯」の司会進行により、抽選会が行われました。3等、2等、1等と順に発表され、一緒に写真を撮ったり、握手をしたり…景品よりも握手の方が嬉しかった、という方もいらっしゃったのでは？！



笑い飯を一目見ようとこんなにたくさんの方々の参加がありました。

みんな欲しい笑い飯のサイン



保護者会長による最後のあいさつ

ボランティアの方々をはじめ地域の皆さんや出演者の皆さん、そしてお世話いただきましたすべての皆様方に心よりお礼申し上げます。

また、会場をお借りした有馬富士共生センターのスタッフの方々には何かとご協力頂きありがとうございました。

総勢500名を超える多くの方々との交流で盛り上がりました。みなさん楽しんでいただけたでしょうか？
また来年も来て下さいね！！